

<競技規定>

1 適用範囲

競技規定は「輪音祭 三輪車3時間耐久レース2016」に適用するものとする。

2 出場資格

1) ライダーとメカニック（ライダー兼務可）、監督（ライダー兼務可）あわせて5名以上10名以内で、当該レースに「出場申込」を行い、競技規定に従うことができる者とする。車両検査合格済み車両は1台とする。

2) ライダー

三輪車乗車の経験があり、大野城と三輪車を愛する者。

3) メカニック

- ・三輪車乗車の経験があり、大野城と三輪車を愛する者。
- ・オイルや工具の取り扱い等に慣れた者。

4) 監督（代表責任者）

- ・三輪車乗車の経験があり、大野城と三輪車を愛する者。
 - ・チームメンバーの中から必ず一人は選出するものとする。
 - ・チームメンバーが未成年の場合、保護者が務めることとする。
- ※その場合ライダー以外から選出することを許可する。

5) 車両検査合格済み車両

車両検査合格後、受付を済ませたものとする。

3 出場車両

利用する出場車両および車両検査等については、別紙「競技車両検査規約」に定めるものに適合したものとする。車両は1台とし、スペア車両は認めない。

4 ライダーおよび車両の変更

1) ライダーの変更

レース当日の参加受付後、登録したライダーの変更は、原則として認めない。

2) 車両の変更

レース当日の参加受付後、車両の変更は認めない。

5 走行中の厳守事項

1) 必要以上にハンドルから手を離したり、コース外に飛び出したり、蛇行走行、

逆走行、コース外走行などの危険な運転をしてはならない。

- 2) 故意に他のライダーの走行を妨害するような走り方をしてはならない。
- 3) 走行しているライダー以外の者が走行中に車両や、ライダーに触れてはならない。
- 4) 出場申込及び、ライダーの登録をしていない者が走行してはならない。
- 5) ライダーは飲酒運転をしてはならない。実行委員会による抜き打ちの飲酒検査を断る場合もしくは飲酒運転をしていた場合は、退場・失格となる。

6 レース

1) スタート

本戦レースのスタートは予選レースのタイム順にスタートラインより、実行委員会が指定する順で並ぶものとする。

第一ライダーはサドルに着座して待ち、スターターの合図でこぎだすものとする。スタート時に審判が危険と判断する行為があった場合は、実行委員会の指示に従い、ペナルティ（1周減）を受ける。もしくは、退場とする。

2) 走行・停止・交代

- ①走行中の姿勢は車両の進行方向に正対し、競技車両のサドルに着座していることとする。
- ②両足で地面を蹴って走行することを認める。ただし、実行委員会より指定された「こぐ区間」を走行する場合を除く。
- ③コースの中で停止する場合には、ライダーは直ちに車両をコース脇に寄せ、他のライダーの走行の邪魔にならないように十分注意する。
- ④車両をコースの進行方向と逆回りに移動してはならない。ただし、実行委員会の指示がある場合は、この限りではない。
- ⑤リタイヤする場合は、直ちに実行委員会に報告すること。
- ⑥ライダーの交代は、ピットで行うこととする。
- ⑦クラッシュおよび車両破損、体力の限界時の対処。

■クラッシュ／速やかに車両を立て直し、レースを続行する。

レース続行が難しい場合は、ライダー・車両ともにコース外にでること。

■車両破損／修理によってレースを続行したい場合は、原則としてライダー自身が車両をもってピットに戻る。また、ピットへ戻る前に実行委員会に連絡をすることとする。なお、会場内では、車両破損の場合の修理については、部品交換や湾曲部の補正程度のものとする。

■体力の限界／体力の限界を感じ1周完走することが不可能な場合は、現周回を放棄してピットに戻り、ピットより再スタートできるものとする。

また、ピットへ戻る前に実行委員会に連絡をすることとする。

3) レースの終了

規定時間（3時間）経過時点でチェッカーフラッグにてレース終了の合図を行う。レース終了は、チェッカーフラッグにより、トップ走者がゴールした時点から、そのトップ走者の前を走行しているライダーがゴールする時点迄をいう。レース終了前5分間は全チーム走行を再開しているものとし、チェッカーフラッグは必ず受けるものとする。

7 順位の設定等

1) 順位の設定

本戦レース順位の設定は、チェッカーを受けた完走チームの中から周回数が多し順に決定され、同周回数の場合は、ゴールライン通過の順位による。

2) 入賞について

入賞チームは上位8位までとし、優勝チーム～6位には賞状と賞金を授与し、7～8位には賞状を授与するものとする。

3) 仮装賞について

仮装賞の設定は、参加している全チームの中から輪音祭を最も盛り上げてくれたチームとする。チームユニフォームや競技車両の装飾、応援パフォーマンスなどを参考に実行委員会にて決定し、賞状とトロフィーを授与する。

8 悪天候等に伴う中止判断、およびルール変更

1) 中止判断

実行委員会の判断にて、台風の接近など悪天候等に伴い中止判断をする場合がある。「輪音祭リスク対策マニュアル（判断基準）」にて判断する。

2) ルール変更（レースの成立等）

①本戦レース出走後、2時間を経過した時点をもってレースが成立したものとし、以降暫定順位を着順とする。

②2時間経過前に天候等の判断に伴い、レースを中止する場合は、賞金・副賞の授与は行わず、参加費の返金処置を行うものとする。本戦レース出走前に中止判断となった場合も同様に返金処置を行うものとする。なお、返金処置には参加受付時に配布した領収証を必要とする。

③その他、悪天候等に伴う判断やその際の実行委員会からのレース指示及び、避難等の情報指示に異議申立てを行わないものとする。

9 ライダーの服装

- 1) ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保するものでなければならない。
- 2) ライダーの服装は、熱中症にも留意したものでなければならない。
- 3) ヘルメットはできる限り装着するものとし、ケガ等の防止に最大限努めなければならない。

10 レース中の写真利用許諾に関して

レース中に撮影したの写真については、これを使用することを許諾するものとする。

11 その他

納入された参加費は原則として返還できない。

上記の規定を守ることができない場合は、ペナルティ(1周減)もしくは退場となる。
本大会に関する異議申し立ては一切行わないものとする。